

内閣総理大臣 安倍晋三 様

2013年2月13日
新日本婦人の会
会長 笠井貴美代

徳田毅議員の国土交通・復興政務官辞任について 責任ある説明と対応を求めます

安倍首相は、先に徳田毅国土交通・復興政務官が突然辞任したことについて説明責任を果たすよう求める女性や国民の声に、今日までなんら応えていません。

徳田氏の女性問題についての週刊誌報道は、事実とすれば、見過ごすことのできない問題です。未成年の女性への性暴力は重大な犯罪であり、実際、最近も柔道金メダリストだった民間人が懲役刑で断罪されています。2007年、東京地裁に訴えられた徳田氏の女性暴行事件は、政務官任命時にすでに明らかになっていたことであり、それを知っていながら指名したとすれば、首相自身の任命責任がきびしく問われます。

また、政務官辞任ですまされる問題ではなく、徳田氏は国会議員としての資質も資格もありません。

この3月、第57回国連女性の地位委員会（CSW）は、「女性に対する暴力」をメインテーマとして開かれます。日本政府は第3次男女共同参画基本計画で、女性に対するあらゆる暴力の根絶をうたっていますが、その取り組みが国際的にも注視されています。

こうしたときに、首相がこの問題で沈黙を続けることは許されません。安倍首相の責任ある説明と厳しい対応をつよく求めます。